

## 単元名 「おいしい野菜をそだてるぞ！」

## 小学校第2学年

## 1 単元について

生活科の内容(7)動植物の飼育・栽培を受けて設定した。植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、親しみをもって大切にしようとする態度を育成できる単元である。栽培する野菜や栽培方法、自分の思いや願いを伝えていく方法など、児童が個々の学びや協働的な学びを基に選択する場面が必然的に起こり、対象との関わりが深まる栽培活動にしていくことができる。さらに、栽培活動を通して、植物との関わりだけでなく、友達や地域の大人との関わりの中で、自分自身を見つめることにもつなげることができると思う。

## 2 児童の実態について

1学年時に、種や道具(鉢や土、支柱など)が全てそろっている栽培セットを使用して、アサガオの観察や世話を行っている。アサガオの世話については、「水やりや草取りを頑張った」と答えている児童がいたが、水やりや草取りは、自分から継続的に進んで行った児童は少なく、教師が声をかけたり、授業で時間を取って行ったりした。しかし、観察や世話をする中で、アサガオの成長や変化で気付いたことを教師や友達に伝える児童は多く見られた。

また、野菜作りの経験がある児童に詳しく話を聞くと、野菜作りの楽しい部分である植え付けや収穫場面での経験が多く、日々の世話を継続的に行ったことがある児童は数名であった。

## 【児童の状況】 35名

## 野菜作りについて

- ・農業の手伝いをしている児童 1名
- ・家庭菜園で野菜作りを経験している児童 3名
- ・幼稚園等でサツマイモ等の野菜を育てたことがある児童 21名
- ・野菜作りの経験がない児童 10名

## 3 指導にあたって

## ① 環境を整える

単元をスタートさせる前に、野菜作りや野菜を使った料理が出てくる絵本の読み聞かせを行い、野菜に関する本のコーナーを設置したり、日々の給食のメニューの野菜を話題にしたりして、野菜の栽培に興味・関心をもつきっかけや環境整備を行うことで、児童から「育てたい」という思いを引き出ししていく。児童一人一人の「育てたい」という思いを実現していくために、自分が育ててみたい野菜の栽培を中心に個別の学びをスタートさせていく。

栽培活動では、育てていく過程で発生するつまずきと児童の学びのストーリーを想定し、学校内外の関係者と連携しながら幅広く学ぶ方法を準備しておく。

## ② 伝え合い交流する場の充実を図る

単元を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、親しみをもって継続的に関わったり、友達の野菜との相違点等に気付かせたりするために、児童が互いに植物や自分自身に対する気付きや疑問、思いや願いを出し合う場をもち、具体的な活動や体験とそれらを振り返ったり表現したりする活動を繰り返しながら授業を展開していく。互いの思いや行為についての気付きを、学級全体や小グループでの交流で伝え合い、共有化していくことで、気付きの質を高めるとともに、新たな活動への意欲につながり、栽培活動を豊かにしていくと考える。

また、野菜の育て方に疑問をもったり、困ったりしたときに自分の力で工夫して解決することができるようにするために、栽培過程での困りや悩みについては、教師が解決策を提示するのではなく、「どのようなことに困っているの?」「あなたは、どうしたいのかな?どうしたらいいと思う?」「○○さんに聞いてみたらどうかな。」など、教師がファシリテーターとなり、児童から気付きを引き出ししていく。引き出した気付きを基に、友達や家族、地域の人たちと伝え合う中で、自己実現の喜びや共に解決していく喜びを味わうとともに、自分のよさや成長にも気付いていく場になると考える。

## 4 単元の目標

ミニトマトなどの植物を継続的に育てる活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物への親しみをもち、大切にしようとする。

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ミニトマトなどの植物を継続的に育てる活動を通して、それらは自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付いている。	ミニトマトなどの植物を継続的に育てる活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。	ミニトマトなどの植物を継続的に育てる活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

## 6 小単元における評価規準

小単元 (時数)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
I そだてたいな、 できるかな (2)		①野菜の特徴などを意識しながら、育ててみたい植物を選んだり決めたりしている。	①自分が育てたい野菜について関心をもち、思いや願いをもって関わろうとしている。
II たねをまこう なえをうえよう (2)	①それぞれの野菜には、野菜に適した準備や植え方などがあることに気付いている。	②種や苗の植え方などについて気付いたことや思ったことを絵や言葉で表現している。	
III お世話をしよう (4)	②育てている野菜の成長の様子や変化や、成長に合った世話の仕方があることに気付いている。	③野菜の立場に立って関わり方を見直しながら、世話をしている。	②育てている野菜の状況に応じて、詳しい人にお世話の仕方を聞いたり、本などで調べたりしながら、世話をしようとしている。
IV 〇〇のようすを つたえよう (2)	③異なる野菜にも、同じような特徴や性質があることに気付いている。	④野菜の変化や成長の様子について、継続的に観察し、友達の野菜と比べながら、気付いたことを絵や言葉で表現している。	
V しゅうかく しよう (2)	④野菜への親しみが増し、工夫して世話ができるようになったことに気付いている。		③育てた野菜への親しみや愛着をもったり、自分の関わりが増したことに自信をもったり実感し、生命のあるものとして関わろうとしている。
VI ふりかえろう！ チャレンジ しよう！ (4)		⑤育ててきた植物のことや心を寄せて世話をしてきたことを振り返り、表現している。	④野菜を育てることや野菜のある生活について関心をもち、これからも継続的に野菜に関わっていこうとしている。

## 7 単元計画

小単元の目標	学習活動	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
I そだてたいな、できるかな 野菜の栽培に関する経験を話す活動を通して、自分が育てたい野菜を決めようとする事ができる。〔本時1/2〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の栽培についての経験を話し合う。</li> <li>栽培方法を調べたり、計画を立てたりする。</li> <li>野菜の育て方について、詳しい人に聞いたり、本などで調べたりする。</li> <li>育てる野菜を決める。</li> </ul>	<b>【思判表①】</b> (発言・行動観察・野菜ノート) <b>【態度①】</b> (発言・行動観察)

<p>II たねをまこう・なえをうえよう 種まきや苗の植え付けなどの活動を通して、それぞれの野菜に合った育て方があることに気付くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の種や苗，育てる場所，道具などの準備をする。</li> <li>種まきをしたり，苗の植え付けをしたりする。</li> </ul>	<p>【知技①】（発言・行動観察） 【思判表②】 （発言・行動観察・野菜ノート） 【態度①】（発言・行動観察）</p>
<p>III おせわをしよう 野菜の世話を継続的に行う中で，気付いたことや思ったことを表現したり，問題を解決したりする活動を通して，野菜の様子や変化に気付き，世話の仕方を変えていくことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の成長を観察し，成長を記録したり，世話をしたりする過程で起こった問題をクラスで共有し，解決策を考えたりする。</li> </ul>	<p>【知技②】 （発言・行動観察・野菜ノート） 【思判表③】 （発言・行動観察・野菜ノート） 【態度②】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p>
<p>IV ○○のようすをつたえよう 友達と自分の世話の仕方を比べながら，育てている野菜に合った育て方で世話をする活動を通して，異なる野菜にも同じような特徴や性質があることに気付くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の成長についての報告会を開き，それぞれの野菜の成長の様子や世話の仕方について比べたり，共通点を見付けたりする。</li> </ul>	<p>【知技③】 （発言・行動観察・野菜ノート） 【思判表④】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p>
<p>V しゅうかくしよう 自分の育てた野菜を収穫する活動を通して，野菜の成長や，自分自身の成長に気付くとともに，野菜に親しもうという思いをもつことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の収穫をし，収穫できた喜びを表現（絵本，紙芝居，新聞，歌，劇，動作化等）する。</li> </ul>	<p>【知技④】 （発言・行動観察・野菜ノート） 【態度③】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p>
<p>VI ふりかえろう！チャレンジしよう！ 自分の育てた野菜を収穫する活動を通して，野菜の成長や，自分自身の成長に気付くとともに，野菜に親しもうという思いをもつことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの活動を振り返り，頑張ったことや更に取り組んでみたいことを表現したり，伝え合ったりする。</li> </ul>	<p>【思判表⑤】 （発言・行動観察・野菜ノート） 【態度④】 （発言・行動観察・野菜ノート）</p>

## 8 本時の目標

アサガオ栽培の経験や個々の野菜栽培の経験を振り返りながら，身近な野菜について知っていることを表現したり，伝え合ったりすることができる。

## 9 授業前の環境整備

- 学校の図書室の野菜に関する本の蔵書の確認や，地域の図書館と連携を図り環境を整える。  
（野菜に関する絵本や図鑑などを用意し，コーナーを設置）
- 読み聞かせの時間に，野菜を育てる話や料理が出てくる話，種についての絵本を読んだり，読んでもらったりする。（実物があるとより効果的）
- 地域の農家の方やJAなどに相談できるよう連携をとっておく。（児童からの提案を予測）
- 掲示物の大きさや内容，掲示する場所の計画を立て準備しておく。

## 10 本時の学習（1/16時間）

学習活動	教師の具体的な働きかけ ◇指導上の留意事項 ◆努力を要する状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 【評価の観点】 評価方法
<p>1. 野菜の栽培についての経験を話し合う。 （情報交流）</p> 	<p>◇児童の学校生活の中から，話題をだす。 ◇手紙やビデオレターなどを使い，児童の興味・関心を高める。</p>	

アサガオに種に似ているかも。

匂いはしないね。でも、どこかで見たことがあるような気がする。

(情報収集)

- ◇諸感覚を使ったつぶやきや、これまでの経験から出たつぶやきをつなげながら、「もっと詳しく知りたいな」という思いや願いを高めていく。
- ◇普段の食事のお手つだいや野菜料理を思い浮かべさせて、予想を立てさせる。

- ◇数種類の野菜の種をグループに配付し、図鑑やICTを活用して調べる時間をとる。



野菜の種って、アサガオと同じようなまき方でいいのかな？アサガオみたいに育てるといいのかな？

ちゃんと水やりすれば育つよ。

時々、肥料をあげたらいいんだよね。

野菜は畑で育てなきゃだめだよ。

野菜によって違うと思うよ。

家の庭で〇〇を育てているけど、植木鉢だよ。

育てた野菜を家族にも食べさせたいな。

好きな野菜を育ててみたいな。

自分で作った野菜なら、食べられるかも。

アサガオの時みたいに、たくさん花が咲いてほしいな。

- ◇これまでの野菜栽培の経験や、アサガオ栽培の経験を振り返りながら、身近な野菜について知っていることを表現したり、伝え合ったりしながら、児童の思いを膨らませていく。
- ◆写真や実物を見せながら、育てたい野菜は何か、どうして育てたいと思ったかなど、発言しやすくする。
- ◆野菜が苦手な児童には、家の人への思いや自分の願いを聞き、野菜づくりへの思いをもたせる。

\*本時は「指導に生かす評価」を行っていく。

【態度①】  
(発言・行動観察)  
・野菜を育てている様子や収穫後のことを考えながら、発言している。

### 2. 自分が育てたいと思う野菜について調べる。 (調べ学習)



育ててみたい野菜について調べてみよう。

育て方は？

種類は？

収穫はいつごろかな？

- ◇調べる項目(育て方・種類・道具など)をいくつか挙げておく。
- ◆個人で調べるのが難しい場合は、ペアや小グループで調べるようにする。
- ◇野菜ノートを用意し、調べたことや気付いたことなど、児童がいつでも自由にかけられるようにしておく。
- ◇疑問に思ったことや不思議だなと思ったこともノートに残しておく。
- ◆ノートは、マスや行の数が異なる数種類を用意し、児童が自由に選べるようにする。

### 3. 調べたことを伝え合う。 (情報交換)

トマトにもたくさん種類があるんだな。

アサガオよりお世話が大変かも。

△△を育てたいけど、冬に植えることになっているよ。

苗から植えるってかいてあるけどな。

〇〇おじちゃんが野菜を作っているから、いろいろ聞いてみたいな。

- ◇給食の献立などから、旬の野菜について興味をもたせる。(〇月によく使われる野菜調べや栄養士や給食委員会からのメッセージなど)

- ◇児童の発言をつながげながら、ポイントを絞って板書していく。
- ◇種まき・苗植えの時期や収穫の時期を視覚化（掲示物や野菜カレンダーの活用）する。



自分たちで育てることができそうな野菜と育てることが難しいそうな野菜がありそうですね。

#### 4. 次時の見通し



今回は、これから自分が育てる野菜を決めようね。

野菜を育てている人に聞けるといいな。

家の図鑑でも調べてみよう。

- ◇調べた情報をもとに、育てる野菜を決めていくことを確認する。
- ◇道具などの準備については、栽培担当の教諭や栽培委員会との連携が取れるようにしておく。（使ってよい道具・場所など）
- ◇職員全体に、活動の意図や予想される児童の動きなどについて知らせておく。
  - ・児童の質問に対応できない場合は、担任にその旨を伝える。
  - ・評価に関わる言動が見られたら、担任に教える。

2年生にも聞いてみよう。



道具の準備もしないといけないな。

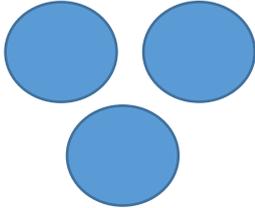
私が育てたいと思った野菜は難しいそうだな。

### 11 板書計画

そだてたい野菜は

なんのたねだろう？  
「そだててみてね」

～アサガオと にているのか?! にてないのか?!



花

野菜

みがる  
はたけでそだつ  
スーパーでかうもの

しゅるい

トマト（大・ミニ）  
きゅうり  
とうもろこし（スイート）  
すいか（大玉・小玉）  
大こん（ミニもある）  
かぼちゃ（ジャンボも）  
なすび  
えだまめ

しゅうかく

夏  
夏  
夏  
夏  
冬  
秋  
夏から秋  
夏・冬

そだて方

水やり（大きくなるとかわる）  
土づくり  
ひりょう（回数がちがう）  
しちゅう（いろいろな立て方がある）  
うえるじき（たね・なえ）  
はたけでそだてるもの  
うえ木ばちでもいいもの

野菜をそだてることはできない？

アサガオよりせ話がむずかしそうだ。  
自分たちでそだてられる野菜とそだてられない野菜がありそうだ。

